

2025年度 授業コード: 22201500

授業科目	教職実践演習（養護教諭）				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期				
担当教員	杉谷 修一／増本 由紀子／木村 政伸／太田 かおり／浜谷 小百合／塚本 美紀／西原 真弓／江藤 真美子										
授業概要	この授業は、これまでの教職課程での学習及び養護実習を振り返りながら、養護教諭としての使命感、保護者や地域への責任、信頼される学校づくり等の課題について考える機会となることを意図している。また、児童生徒等の理解の方法や専門性を高めるためのリソース活用法など、各演習テーマについて、グループ学習や討議・発表といった演習形式で学習し、養護教諭の実践的技能と資質・能力の向上を目指す。										
授業形態	対面授業			授業方法	ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程関連科目について振り返り、各自に残された課題を確認する。 2. 養護教諭として求められる資質・能力を具体的な学校場面に位置づけて考えることができる。 3. 信頼される学校づくりに資する養護教諭のあり方についての理解を深めることができる。 4. 児童生徒等の理解の方法とそれに基づく教育活動についての実践力を高めることができる。 5. 保健教育の計画・実施・評価に関する実践力を高めることができる。 6. 養護教諭としての自律的な成長に必要なリソースの活用法を身につけることができる。 養護教諭の実践的技能と資質・能力の向上を目指しているため、到達目標がすべてできることを標準とする。										
理想的レベル	養護教諭の実践的技能と資質・能力の向上を目指しているため、到達目標がすべてできる段階からさらに新規採用の養護教諭として実務ができるように深めることができることを理想とする。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）			備考						
試験											
小テスト											
レポート		40									
発表（口頭、プレゼンテーション）		30									
レポート外の提出物		10									
その他		20			授業貢献度						
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE44115J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
予習：演習内容を踏まえて履修カルテを再点検する。										4	
授業計画											
第1回	テーマ：イントロダクション（全学科合同） これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。										

第2回	テーマ：学科オリエンテーション（杉谷・増本） 履修カルテの確認と自己評価による課題の明確化を行う。
第3回	テーマ：教師にとっての使命感（杉谷） 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループで討議を行うことを通じ、教師の使命感を学ぶ。
第4回	テーマ：家庭や地域、関係機関との連携（外部講師・全学科合同） 保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について、グループで学ぶ。
第5回	テーマ：養護実習成果発表（杉谷・増本） 養護実習の成果発表を行う。（3年生「養護実習前実習後指導」）
第6回	テーマ：養護教諭の職務と役割①（増本） 健康診断について学びを整理する。
第7回	テーマ：養護教諭の職務と役割②（増本） 健康相談について学びを整理する。
第8回	テーマ：養護教諭の職務と役割③（増本） 保健教育について学びを整理する。
第9回	テーマ：養護教諭の職務と役割④（増本） 救急処置について学びを整理する。
第10回	テーマ：特別支援学校における養護教諭の役割①（外部講師・増本） 障害を抱える子どもへの対応や学校での取組について学びを深める。
第11回	テーマ：特別支援学校における養護教諭の役割②（外部講師・増本） 障害を抱える子どもへの対応や学校での取組について学びを深める。
第12回	テーマ：養護教諭の職務と役割⑤（増本） 保健組織活動について学びを整理する。
第13回	テーマ：養護教諭の職務と役割⑥（増本） 保健室経営について学びを整理する。
第14回	テーマ：資質・能力の向上に向けた課題の確認（全学科合同） 教師として求められる資質・能力の向上を図るうえで取り組むべき各自の課題について整理する。
第15回	テーマ：まとめ（全学科合同） 第14回の演習に基づき、グループ討議を通じて資質能力への具体的な取り組みを明らかにし、発表する。
テキスト	教科書は使用せず、担当教員が適宜、授業においてレジュメ等を配布する。

<p>参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>文部科学省ホームページ 日本学校保健会ホームページ 学校保健ポータルサイト 履修カルテ、養護実習記録、ポートフォリオ、その他、授業中に指示する。</p>
<p>課題に対 するフィ ードバッ クの方法</p>	<p>レポート内容及び課題提出等については、授業の中で指示する。 その他の評価については、授業への貢献度等で評価する。</p>
<p>学生への メッセー ジ・コメ ント</p>	<p>この演習は、教職課程の最終段階として、これまでの全ての学習や活動の総点検をしながら、実践的技 能や能力の向上を目指すものである。養護実習の記録類や履修カルテ作成、ポートフォリオの作成をき ちんに行って実習の復習を行っておくことが大切である。 履修カルテを活用しながら、教職の関連科目や専門科目と教育実習を各自で振り返り、授業に臨んで欲 しい。 教員を目指す者には、教員採用試験に向けた準備のために参考になる情報や知識が含まれているので、 この授業を大いに活用して欲しい。授業中の教師の説明や解説、意見交換の内容をこまめに記録して役 立てることをお勧めする。 各回の授業で得た成果を「教職実践演習のまとめ」に整理し、提出する。これは評価対象の一部とな る。 「教職実践演習のまとめ」の内容 ・グループ発表資料：養護実習の成果、その他の発表資料など ・各レポート（代表者が作成・提出）</p>